

第2次つくばみらい市地域福祉計画・つくばみらい市地域福祉活動計画（案）
 に対する意見の内容および市の考え方

意見提出期間	平成30年12月7日（金）～平成31年1月6日（日）		
意見提出者数	1人	意見件数	5件

No.	意見の内容	件数	市の考え方
1	<p>全体として、計画に盛り込むべき事項で社会福祉法上、(3)地域福祉に関する活動への住民の参加に関する事項について、全体的に弱い。NPOの育成なども読めない。協働の指針を考えているつくばみらい市として、具体的な取り組みが弱い。</p>	1	<p>■原案どおりとします。</p> <p>第4章 施策の展開の中で各基本目標に、市民、地域、行政、社会福祉協議会それぞれの取り組む役割について記載しています。また、社会福祉協議会に設置されているボランティア市民活動センターは、地域住民のボランティア活動に限らず、NPOも含めた幅広い分野での市民活動、当事者活動などの協働、育成や支援体制整備の役割を担っています。</p>
2	<p>計画の趣旨</p> <p>「本計画は、総合計画の方針を踏まえ、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉などの各分野が連携し、本市の地域福祉の充実を図る「第2次つくばみらい市地域福祉計画・つくばみらい市地域福祉活動計画」を策定するものです。」とありますが、現状では、高齢者、障害者、児童といった対象ごとに計画が策定され、それぞれ根拠法を異にしているが、これらとの整合性及び連携を図り、これらの既存計画を内包する計画として、「地域住民主体のまちづくり」や幅広い地域住民の参加を基本とする視点を持った地域福祉計画として位置付けるべきであるので、各分野が連携してというのは、縦割りの要素が強いように思う。地域福祉計画は、関係計画を内包する位置とすべきと考える。国の指針もそのようになっている。</p>	1	<p>■次のとおり修正します。</p> <p>本計画の位置づけについては、第1章 3. 計画の位置づけにおいて、「子ども、高齢者、障がい者などの福祉に関連する本市の分野別計画と整合や連携を図りながら、これらの既存計画を横断的に接続する計画として、市民主体のまちづくりや市民参画を促し、市民の生活全般にわたる福祉の向上を図ることを目的としています。」とお示ししております。</p> <p>他分野の計画を包含した形にするため、6ページの図の修正を加えました。</p>

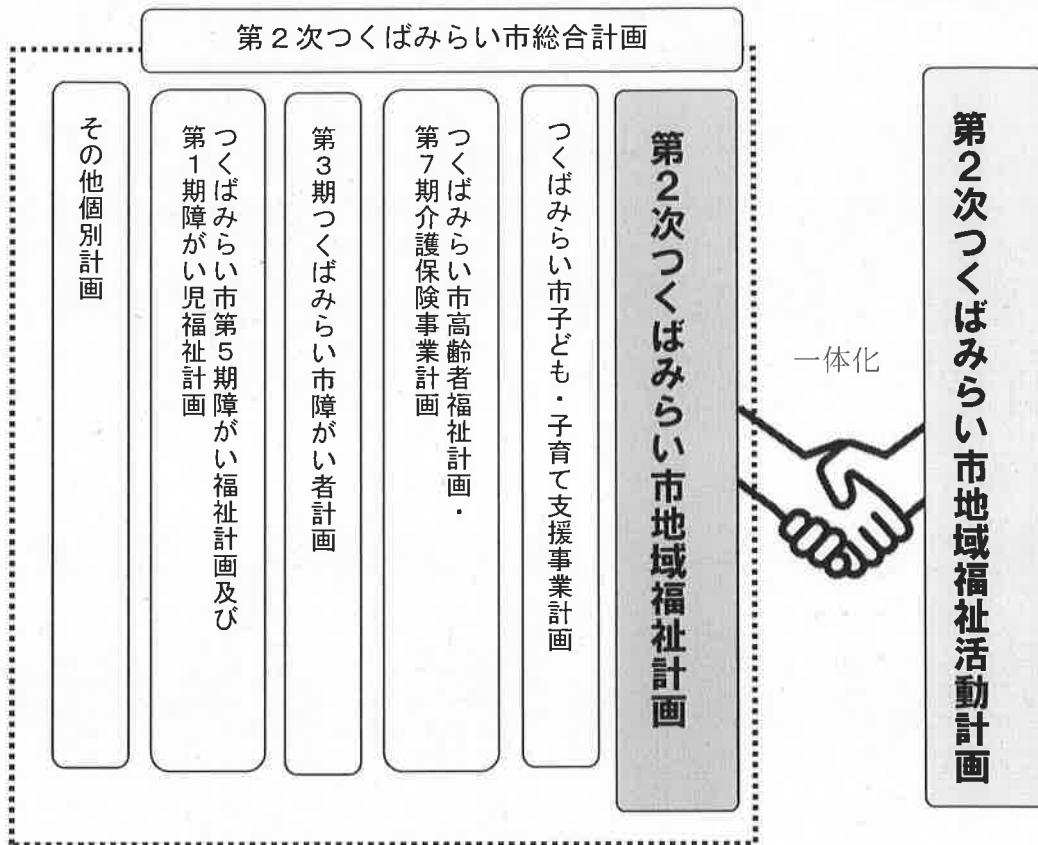
<p>3</p>	<p>「地域福祉推進体制づくり 福祉活動を担う人材の育成を充実し、身近な課題に気がつける地域社会を目指すための地域福祉活動を推進します。」</p> <p>地域活動を推進してとありますが、これでは、どのような体制を作るのかわからない。具体的な体制はできないのではないのでしょうか。</p>	<p>1</p>	<p>■原案どおりとします。</p> <p>第4章 施策の展開 基本目標1 施策の方向 1～3において、社会福祉協議会の個別具体的な事業を通じて、地域住民やボランティア活動をしたいと思っている人を広く公募し、地域福祉の担い手やリーダーの育成につながるよう、人材育成のための取組を推進しております。</p> <p>その一つの取組みとして、生活支援体制整備事業を実施しています。市内5地区において協議体を構築し、日常生活において支援が必要な高齢者の方が、住み慣れた地域で在宅生活ができるよう、住民主体による身近な地域での助け合い・支え合い活動を推進し、支え上手・支えられ上手の「地域づくり」に取り組んでいます。</p>
<p>4</p>	<p>計画の進行管理と評価</p> <p>本計画の着実な推進を図るため、進捗状況の点検・評価を行うとともに、PDCAサイクルによる計画の推進を図ります。とあるが、主体は誰なのかわからない。</p> <p>住民側の進行管理なのか、庁内の進行管理なのか、意味不明である。具体的に表記していただきたい。</p> <p>例えば下記のように示すことが必要。</p> <p>計画の進行管理のしくみ</p> <p>住民側の計画の進行管理組織として「地域福祉推進〇〇会議」を位置づけ、計画期間の中間年度や最終年度において、計画の進捗状況の評価を行います。</p> <p>本計画策定段階の〇〇会の取り組みを生かして、計画の実践段階においても住民主体の柔軟な推進を支援します。</p> <p>あわせて、「地域福祉にかかわる庁内調整会議」を立ち上げて、庁内の施策連携を図ることによって、計画の実践を支援します。</p>	<p>1</p>	<p>■次のとおり修正します。</p> <p>計画の進行管理と評価について、以下のように追記いたします。</p> <p>本計画の着実な推進を図るため、進捗状況の点検・評価を行うとともに、PDCAサイクルによる計画の推進を図ります。</p> <p>PDCAサイクルとは、マネジメントサイクルのひとつで、計画（Plan）を立て、それを実施（Do）し、実行の結果を評価（Check）して、さらに計画の改善（Action）を行う一連の流れのことです。</p> <p>本計画においては、PDCAサイクルを行うことで、計画の目標達成に向けた実効性を確保します。</p> <p><u>また、進捗状況の評価は、策定に携わった関係者で構成する「(仮称)つくばみらい市地域福祉計画推進委員会・つくばみらい市地域福祉活動計画推進委員会」を組織し行います。</u></p> <p><u>本計画は、毎年計画の進捗管理・評価を実施し、必要に応じて計画の見直しを行います。</u></p>

5	防犯防災は、別の基本的な計画があるので、ここまで基本目標で立てることはないと思われる。	1 ■原案どおりとします。 本市においては、地区によって高齢化で小規模化する行政区も出始め、コミュニティ機能の低下が懸念されます。また、高齢化の進行と併せて避難行動要支援者が増えることが予想されます。さらに、一人暮らしの高齢者や子どもを狙った犯罪も発生し、防犯の取り組みも求められ、未然防止のための防犯パトロールやボランティアをはじめ、地域の見守り活動を中心とした、住民が主体となる防犯対策が必要になっています。今後も行政からの支援に加えて地域福祉の考え方を取り入れた防災力、防犯力の強化が重要になるため、施策の方向の一つとして掲げています。
---	---	--

■修正前

つくばみらい市

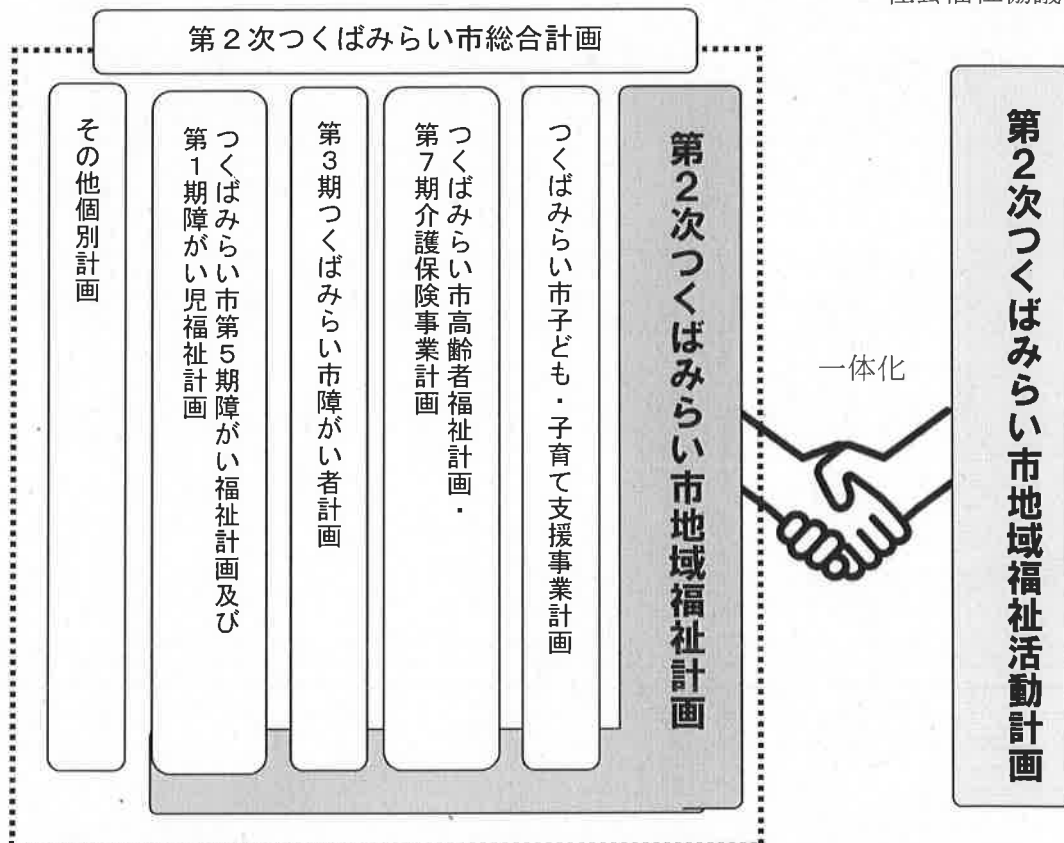
つくばみらい市
社会福祉協議会



■修正後

つくばみらい市

つくばみらい市
社会福祉協議会



2. 計画の進行管理・評価

本計画の着実な推進を図るため、進捗状況の点検・評価を行うとともに、PDCAサイクルによる計画の推進を図ります。

PDCAサイクルとは、マネジメントサイクルのひとつで、計画（Plan）を立て、それを実施（Do）し、実行の結果を評価（Check）して、さらに計画の改善（Action）を行う一連の流れのことです。

本計画においては、PDCAサイクルを行うことで、計画の目標達成に向けた実効性を確保します。

また、進捗状況の評価は、策定に携わった関係者で構成する「（仮称）つくばみらい市地域福祉計画推進委員会・つくばみらい市地域福祉活動計画推進委員会」を組織し行います。

本計画は、毎年計画の進捗管理・評価を実施し、必要に応じて計画の見直しを行います。